回答者 : 町長

## ご提案の内容

## ご提案に対する回答

## ゴ 退集 について

毎年、1月から2月の間、ゴヨ収集を実施しない所があるわけですが、野沢町内に点在するゴヨ収集所の中でも10箇所にも満たない箇所の収集を行わない理由を教えていただきたい。

私は野沢町内に住んでいますが、自宅脇にあるゴヨ収集所は冬場、収集してくれません。勤務地が、雪道で1時間弱かかるので、他のゴヨ収集所に・・・と思っても鍵があいていない場合もありました。昨年まで、下の子どもを保育所に朝、保育時間を延長させていただいていたので野沢町内でゴミを出せる場所を何カ所か探したりと大変な思いをして出勤していました。私のまわりでも、高齢化がさらに進み、冬場の足下が悪い中のゴヨ出しは、大変なのではと思います。ゴヨ収集を行わない理由と、改善策または検討する考えはあるのか教えていただきたい。

回答日)平成22年1月27日 但当課)町民情報課

ごみ収集に際しては、悪臭・汚水の拡散、落下、飛散等の防止のために特殊車両(パッカー車)で行っていますが、冬期間は降雪により、狭い、急登、行き止まりでかつ引き返し困難などの理由により収集車両の通行が危険、あるいは困難である12箇所のごみステーションで収集を休止しています。

町をきれいにすることや、環境にやさい、町づくりは非常に大切なことですので、ご指摘の内容について該当する自治区のみなさんと一緒に、降雪時の対応や収集場所の見直しなど改善に向けた検討をしていきます。

## バイオマス燃料について

12月8日の日本農業新聞に非食糧に依るバイオマス燃料化の記事があった。我が町の総面積の80%が山林であり何とかこの山林の活用方がないものかと考えていた矢先の記事だった。草木だけのバイオマスを使ってエタノールの直接合成に成功し、食糧から採れるエタノールの4倍もの量が採れたとの事で、将来、西会津にも大きな期待が持てるものと思われるので、調査されて、町の活性化に役立てばと考えます。

ペレット生産工場の誘致について 豊富な山林資源の有効利用の一つにペレット生産加工工場の誘致等はできないものでしょうか。 ペレットストーブ購入に補助金を出すのも結構だが、もしその工場ができれば、山林作業者だけでなく広く雇用対策につながって活気づくような気がする。温暖化問題で騒いでいますが、地下資源のエネルギーではなく、昔のように地上山林資源をフル活用して将来に備えるべきと思います。

回答日)平成22年1月27日 担当課 まちづく1政策室

山林資源の利活用について回答いたします。まず、1点目の草木からのエタノール製造については、現在のところ実証実験段階であることから、今後その経過を見守っていきたいと考えております。次にペレッド生産工場の誘致でありますが、それが実現できれば豊富に存在する山林資源の有効活用と雇用の場の確保が図られることとなり、町にとっては非常にメリットのある事業と考えられます。しかし、収集方法、効率的な変換技術の開発や事業の採算性などの課題があることから、今後それら調査・検討していきたいと考えております。